

令和7年度 事業報告書
社会福祉法人ウェルハート厚生会 法人本部

法人運営について

(1) 基本情報（社会福祉法施行規則第2条の4 1 第1号）

- ① 法人名 社会福祉法人 ウェルハート厚生会
- ② 法人事務所所在地 三重県多気郡明和町大字志貴1 3 3 4番地
- ③ 法人電話番号 0596-55-8800

(2) 評議員の状況（同規則第2号）

別紙「評議員名簿」のとおり

(3) 理事の状況（同規則第3号）

別紙「役員名簿」のとおり

(4) 監事の状況（同規則第4号）

別紙「役員名簿」のとおり

(5) 理事会・評議員会の開催状況（同規則第8号）

（理事会）

第1回 令和7年6月6日（金） 出席者：理事総数6名中6名、監事2名	
議案	1 令和6年度 事業報告について 2 令和6年度 収支決算の承認について 3 定時評議員会の招集について 4 役員候補者の選任について 5 評議員選任・解任委員の選任について 6 就業規則の変更について

第2回 令和7年6月22日（金） 書面決議	
議案	1 理事長選定の件
第3回 令和8年2月26日（木） 出席者：理事総数6名中5名、監事2名	
議案	1 令和7年度 補正予算について 2 就業規則および賃金規程の変更について 3 定款施行細則の変更について 4 経理規程および経理規程細則の変更について 5 評議員選任・解任委員会運営細則の変更について
第4回 令和8年3月26日（木） 出席者：理事総数6名中5名、監事2名	
議案	1 令和8年度 事業計画（案）について 2 令和8年度 予算（案）について

（評議員会）

第1回 令和7年6月22日（日） 出席者：評議員総数7名中6名	
議案	1 令和6年度 収支決算及び財産目録の承認について 2 理事および監事の選任について

（6）内部経理監査

日 時：令和7年6月2日（月）

内 容：令和6年度における会計業務執行状況についての内部経理監査

（7）監事監査（同規則第9号）

日 時：令和7年6月4日（水）

内 容：令和6年度決算及び事業報告についての監査

＜監事監査における監査結果＞

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、本年度は新型コロナウイルスの影響で書面報告や書面決議であったが理事会に参加し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務の執行状況について状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係わる事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係わる計算関係書類（計算書類およびその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に相違する重大な事実はありません。
- 三 見守りシステムの導入や事故発生対策、喀痰吸引資格者の育成、防災体制の整備など良質なサービス提供が実施されており、職員定着率も高く、事業運営は概ね良好であったと評価できます。次年度以降の事業を見据えて下記 2 点について配慮した運営が求められます。
 - 1) 本年度は冬場において感染症の発生が続き、利用者およびヘルパーに長期間の影響、負担が発生しました。来年度に向けて流行期の感染症の予防対策、対応体制への一層の配慮・充実が求められます。
 - 2) 新たに放課後デイサービス（ハッピージュニア）の運営が開始されましたが、立ち上げ期の利用率が低調で、運営に課題があります。利用者の確保、利用促進に向けた具体的な施策の検討と実施が求められます。

② 計算書類及び財産目録の監査結果

- 一 計算書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- 二 令和 6 年度の業績は、感染症の発生により入所稼働率の低下が見られたほか、助成金受給時期のずれに伴う資金面での影響を受けたものの、効率的な運営、経費節減等の取組みにより、採算性は維持できており、手元資金も確保され安定した事業運営であったと評価できます。次年度以降の事業を見据え、下記 2 点について配慮した運営が求められます。
 - 1) これまで比較的安定していた広域ユニットにおいて、感染症の影響により部屋稼働率が低下し、収益性の下落が見られました。ショートステイの受け入れ増加により一部補填出来た点は評価できるものの、今後は稼働率の安定確保に向けた取組みを強化し、業績の適正な維持・向上に留意が必要です。
 - 2) 開設から 10 年以上を経過し、施設の大規模改修や老朽化設備更新への備えの必要性が増えています。短期的な事業計画に加え、中長期的な視点から設備投資計画の策定、改修準備金等の資金確保に向けた対策を講じるなど、将来を見据えた持続的な事業推進に配慮することが求められます。

（８）法人情報の公表等の状況（同規則第13号）

① 主たる事務所への備え置き

事業報告書（付属明細書含む）・貸借対照表及び収支計算書（付属明細書含む）財産目録・
定款・監事監査報告・役員名簿・事業計画書

② インターネット・ホームページを活用した情報公開

定款・現況報告書・事業報告・貸借対照表・収支計算書・財産目録・監事監査報告

（９）社会福祉充実残額の算定根拠（同規則第14号）

別紙「社会福祉充実残額」のとおり

（１０）健康経営の認定・取り組み状況

① 認定状況

令和7年7月1日 三重とこわか健康経営カンパニー2025 認定

令和8年3月9日 健康経営優良法人2026（中小規模法人） 認定

② 主な取り組み内容

- ・従業員の健康診断実施（受診率実質100%）
- ・健康診断再検査、がん検診、婦人科検診の費用補助制度
- ・心の健康についての相談窓口の設置
- ・インフルエンザ予防接種の費用補助などの感染症予防に関する取り組み
- ・柔道整復師による腰痛予防のためのマッサージ・ストレッチの実施

(別紙)

役 員 名 簿

(令和8年4月1日現在)

任期 自 令和7年6月22日

至 令和9年度第1回定時評議員会

役職名	氏 名	現就任 年月日	当初就任 年月日
理事長	西村昭徳	R7. 6. 22	H24. 6. 1
理 事	西村智美	R7. 6. 22	H26. 9. 15
理 事	西井豊生	R7. 6. 22	H24. 6. 1
理 事	岩崎良文	R7. 6. 22	R2. 4. 1
理 事	北村一昭	R7. 6. 22	H24. 6. 1
理 事	藤森正也	R7. 6. 22	R6. 4. 1
監 事	疋田眞也	R7. 6. 22	H26. 3. 1
監 事	濱口幸	R7. 6. 22	R5. 3. 1

(別紙)

評 議 員 名 簿

(令和8年4月1日現在)

任期 自 令和5年6月16日

至 令和9年度定時評議員会

役職名	氏 名	現就任 年月日	当初就任 年月日
評議員	中村 貴司	R5. 6. 16	H29. 4. 1
評議員	青山 和宏	R5. 6. 16	H29. 4. 1
評議員	脇田 博	R5. 6. 16	R2. 4. 1
評議員	松嶋 治樹	R5. 6. 16	R2. 4. 1
評議員	松島 康雄	R5. 6. 16	R2. 4. 1
評議員	小林 豊	R5. 6. 16	R5. 6. 16
評議員	伴野 文俊	R6. 1. 1	R6. 1. 1

社会福祉充実残額

令和8年3月31日

項目				金額
第一号	活用可能な財産		資産	992,878,244
			負債(△)	326,529,248
			基本金(△)	48,400,000
			国庫補助金等特別積立金(△)	239,590,083
	合計(a)			378,358,913
第二号	事業用不動産等			
			財産目録により特定した事業対象	526,967,042
			不動産等の合計額	
			対応基本金(△)	48,400,000
			国庫補助金等特別積立金(△)	239,590,083
			対応負債(△)	264,755,000
			小計	0
	再取得に必要な財産			
			将来建替に必要な費用	193,136,238
			建替までの間の大規模修繕に必要な費用	74,731,348
			設備・車両等の更新に必要な費用	121,570,898
	必要な運転資金		年間事業活動支出の3か月分	115,249,790
			(年間事業活動費×3÷経過月数)	
			小計	504,688,274
	合計(b)			504,688,274
残額	社会福祉充実残額(a)－(b)		※1万円未満を切り捨て	0
	特例による控除額(c)	年間事業活動支出		460,999,163
	社会福祉充実残額(a)－(c)			0

社会福祉法人 ウェルハート厚生会

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人 ウェルハート厚生会

実施事業 特別養護老人ホーム ウェルハート明和

地域密着型特別養護老人ホーム ウェルハート明和（ユニット型）

地域密着型特別養護老人ホーム ウェルハート明和（多床室）

令和7年度においては、当法人の基本理念である「のんびり」「一緒に」「楽しみながら」を実践しつつ、ご入居者様一人一人の意思と人格を尊重し、施設サービス計画に基づきながら、ご入居の皆さまが自律的な日常生活を営めるよう支援してまいりました。

また、令和5年に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となりましたが、それ以降も、引き続き感染対策に継続して取り組みながら、ご入居者様に季節を感じていただけるよう適宜行事を開催したほか、ご家族様等との交流によって日常生活の活力につながるよう、可能な限り居室での面会機会の確保に努めました。

感染予防のため、事業計画の重点目標の一つであった地域住民とのかかわりについて一部不十分な結果となりましたが、他の重点目標については、概ね実現することができました。

（１）職員の状況（同規則第6号）

【職員の体制：ウェルハート明和】

（表1）

職 種	令和7年4月1日現在	令和8年4月1日現在
施設長	1名（常勤）	1名（常勤）
事務長	1名（常勤）	1名（常勤）
介護支援専門員	2名（常勤） 1名（常勤）（生活相談員兼務）	2名（常勤） 1名（常勤）（生活相談員兼務）
生活相談員	1名（常勤）	1名（常勤） ※副施設長兼務
介護指導員	—	1名（常勤）
看護職員	6名（常勤）	6名（常勤）
機能訓練士	1名（常勤）	1名（常勤）
管理栄養士	1名（常勤）	1名（常勤）
介護職員	37名（常勤） 11名（非常勤）	37名（常勤） 9名（非常勤）
事務員	1名（常勤）1名（非常勤）	1名（常勤）2名（非常勤）
宿直員	4名（非常勤）	4名（非常勤）
清掃員	4名（非常勤）	5名（非常勤）
合 計	常 勤52名 非常勤20名	常 勤53名 非常勤20名

【採用・退職等の状況：ウェルハート明和】

(表2)

日 付	採 用	退 職
令和7年4月	介護職員 2名(常勤) 介護職員 1名(非常勤)	
令和7年5月	介護職員 1名(常勤)	介護職員 1名(常勤)
令和7年6月	事務職員 1名(非常勤)	
令和7年7月	介護職員 1名(非常勤)	介護職員 1名(常勤) 介護職員 1名(非常勤)
令和7年8月	介護職員 1名(常勤)	
令和7年9月	清掃職員 1名(非常勤)	介護職員 2名(常勤)
令和7年10月	介護職員 2名(常勤) 介護職員 1名(非常勤) 事務職員 1名(常勤)	
令和7年12月	介護職員 1名(常勤)	介護職員 3名(常勤) 介護職員 4名(非常勤)
令和8年1月		介護職員 2名(常勤)
令和8年2月	介護職員 3名(常勤) 介護職員 1名(非常勤)	
令和8年3月	介護職員 1名(常勤)	介護職員 1名(常勤)
令和8年4月	介護職員 1名(常勤)	
合 計	常勤 13名 非常勤 6名	常勤 10名 非常勤 5名

※令和7年4月、令和8年4月はいずれも4月1日付け採用であり、(表1)の4月1日現在人数に含まれている。

(2) 施設入所実績

入居状況については、入居者様の平均介護度が4を超え依然として重度者の割合が高い中、広域ユニットにおいては、前年度からの感染症の影響により、入院やご逝去されたことによる空床が多く発生した結果、平均稼働率95%の年間目標をわずかに達成できませんでした。

短期入所では、感染症拡大防止の対応を徹底したうえで、緊急依頼に柔軟に対応するほか、入居待機者等に対し積極的な受け入れに努めました。今後も、協力医療機関や病院との情報共有をより密にし、空床利用しているショートステイ事業運営のさらなる効率化を図ります。

① 入院による年間の空室延べ日数の推移 (表3)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	707日	1,289日	872日
地域密着（ユニット型）	284日	408日	125日
地域密着（多床型）	108日	36日	15日

② 年間平均稼働率（目標95.00%）の推移 (表4)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	94.79%	90.65%	94.84%
地域密着（ユニット型）	93.40%	91.27%	96.64%
地域密着（多床型）	96.02%	97.71%	98.27%

③ 年間平均介護度の推移 (表5)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	4.10	4.02	3.98
地域密着（ユニット型）	4.04	4.08	4.10
地域密着（多床型）	4.39	4.55	4.06

④ 短期入所事業利用日数の推移 (表6)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	379日	665日	474日
地域密着（ユニット型）	139日	224日	51日
地域密着（多床型）	27日	3日	0日
計	545日	892日	525日

⑤ 看取り件数

令和7年度において、ご逝去により退居された方は14名であり、そのうち、看取り介護を実施した方は7名でした。

何れのご家族様からも、最期を傍で見送ることができたと、感謝の言葉をいただきました。

(表7)

看取り介護人数	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	3名	4名	5名
地域密着（ユニット型）	1名	3名	1名
地域密着（多床型）	1名	3名	1名
計	5名	10名	7名

⑥ 苦情への対応

令和7年度にいただいた苦情は4件であり、そのすべてが入居者様ご本人とご家族様からの苦情でした。

(表8)

苦情件数	令和6年度	令和7年度
ケアの内容にかかわる事項	3件	3件
個人の嗜好・選択に関わる事項	0件	0件
その他(事務手続き、面会環境等)	3件	1件
計	6件	4件

⑦ 事故報告・ヒヤリハットの推移

労働災害における経験則のひとつであるハインリッヒの法則では、1つの重大事故の背後には300のヒヤリハット（無傷害の事故）が存在するとされています。

大きな事故を起こさないためには、ヒヤリハットを検証して原因と対策を究明し、ヒヤリハットの減少を心がける必要があります。そのためには、いかにして気づきを増やしていくかが課題となっています。

また、入居者様の高齢化や重度化が進む中、転倒・転落事故が増えていることから、見守りシステムの全居室導入を計画的に進めているところです。

(表9)

事故報告	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	85件	121件	108件
地域密着（ユニット型）	31件	30件	23件
地域密着（多床型）	15件	5件	12件
計	131件	156件	143件
ヒヤリハット	令和5年度	令和6年度	令和7年度
広域ユニット	61件	46件	85件
地域密着（ユニット型）	96件	51件	31件
地域密着（多床型）	50件	9件	17件
計	207件	106件	133件

(3) 令和7年度事業計画の重点目標について

① 施設内での良好なコミュニケーション

- 入居者様と職員及び職員同士の良好なコミュニケーションを図り、入居者様に安心して落ち着いた生活をしていただけるよう、季節に合わせた各種イベント等を実施するなど、良好な関係を築くことができました。

② 地域住民との良好なコミュニケーション

- サービスの透明性を確保し、地域に開かれた施設運営を行うため、地域密着型運営推進会議を6回開催し、ご家族様や地域住民の代表者の方々により良い施設運営をめざした意見を共有することができました。（資料1参照）
- 施設駐車場内に新しく開校する明和北小学校のスクールバス停留所を設置するための取組を進めました。一方、新型コロナウイルスの感染防止のため、地域住民と一緒に行う事業は中止せざるを得ませんでした。

③ 職員の資格取得

- ・ 良質な介護サービスの提供に繋げるため、実務者研修の受講支援や介護福祉士の資格取得を支援した結果、初任者研修以上の有資格者は、ユニット職員46名中39名（令和8年4月1日現在）となりました。

④ 喀痰吸引有資格者の育成・配置

- ・ 医療の必要な入居者が増加傾向にある中で、今後喀痰吸引が必要な入居者の増加が予想されることから、喀痰吸引の資格を有する職員の確保が課題となっています。

令和7年度では、資格取得の対象となる職員に喀痰吸引等研修を行うなど、6名の有資格者を養成しました。

（表10）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
喀痰吸引等行為従事者	6名	3名	3名	3名
認定特定行為業務従事者	5名	0名	0名	3名
養成者 計	11名	3名	3名	6名
在職有資格者（令和8年5月1日現在） 25名				

※喀痰吸引等行為従事者・・・介護福祉士で社会福祉振興・試験センターが発行する介護福祉士登録証に、研修が修了していることが明記されている者

※認定特定行為業務従事者・・・介護職員（介護福祉士含む）で県が発行する認定証を有する者

⑤ 職員の能力向上

- ・ 職員の資質向上に向けて、OJTによる実践的な学びを重視する取り組みのほか、各種研修会への参加や、ユニット別での全員参加型の実習等による勉強会などを実施し、良質なサービス提供につなげました。（資料2・3参照）
- ・ 特に、認知症専門看護師が、各ユニット職員の認知症患者に対するケアに直接かかわっていく介入型研修を実施し、ユニット職員の認知症ケアに係る実践力を高めました。
- ・ さらに、認知症を専門とする精神科医による療養指導サービスを導入したことにより、看護職員、介護職員が入居者様の症状について直接アドバイスを受けられるようになり、職員の認知症に関する知見を深めることができるようになりました。
- ・ 従来、研修時間の確保が難しかった介護職員等への法定研修について、職員が各自のスマホからオンデマンドで研修を受けることができる新たな介護職向け医療教育サービスを導入し、各職員が業務の合間を見て効率的、効果的に学習できる環境を整備しました。

⑥ 外国人人材の受け入れ環境の整備

- ・ 外国人職員は、令和7年度末現在で7名（ベトナム4名、ネパール2名、インドネシア1名）が在職しており、うち6名は、県の補助金を活用した職員寮（8室、令和4年完成）に入寮しています。
- ・ 日本語能力の低い外国人職員は、日本固有の文化や良好なコミュニケーションに基づいた質の高い介護サービスの提供が困難なことから、介護に携わる外国人に特化した外部研修を受講させましたが、今後も継続して外国人人材の育成に取り組んでいく必要があります。

(4) 施設の運営管理について

① 充実した施設環境づくり

- ・ 令和7年度の介護報酬改定について、改定内容を十分に精査し、運営（請求）基準を満たすよう適切に対応しました。
- ・ 入居者様に笑顔で暮らしていただけるよう、また、入居者様の「ゆめ」の実現のご希望に応えられるよう、各ユニットにおいて催し物や外出などのレクリエーションを実施しました。（資料4、5参照）
- ・ 入居者様に食の楽しみを実感していただけるよう、適切な栄養管理を行うとともに嗜好調査を実施するなど、一人ひとりに応じた栄養ケアマネジメントを行いました。
- ・ コロナ禍以降、ロビー等での面会に限るほか時間、人数、回数等で面会制限を行ってきましたが、職員の接遇意識向上のための研修や施設環境の再点検、感染対策のための面会ルールの作成などに取り組んだ上で居室面会を本格的に再開し、ご家族様からご好評をいただきました。

② 魅力ある職場づくり

- ・ 職員の安全及び保健衛生の向上に取り組むとともに、同好会（ソフトバレー、野球）の金銭的補助など職員に対してスポーツに取り組む機会の提供を行ったほか、職員の福祉厚生、健康増進に努めました。

③ 生産性向上の取組

- ・ 介護分野における生産性向上に取り組むため、「生産性向上委員会」を設置し、入居者様の安全及び介護サービスの質の確保並びに職員の負担軽減に資する方策を定期的に検討しました。
- ・ 職員から職場の課題を集めることにより「現場の課題の見える化」を行い、職員間の情報共有ツールの導入を始め、個別業務の簡素化、スキマバイトの有効活用、認知症専門医による療養指導サービスの導入、介護職向け医療教育サービスの導入など、さまざまな業務改善につなげることができました。
- ・ 入居者様の居室への見守り介護システムの配備を継続的に進めたことにより、昼夜問わず発生が危惧される転倒事故等の早期発見や未然防止、職員の負担軽減などにつながりました。

④ 災害対策

- ・ 消防訓練の実施
令和7年 5月10日（土）第1回火災防災訓練（地震を想定）
令和7年11月15日（土）第2回火災防災訓練（洪水を想定）
- ・ ライフラインの防災対策
地域密着棟の非常用自家発電設備の屋上移設工事（令和5年度）、広域棟の非常用自家発電設備の新設工事（令和6年度）が完了し、引き続き、広域棟の受水槽の嵩上げ、耐震化工事（令和8年度以降予定）のための検討を行いました。
- ・ 地元自治会との協定
東南海地震に備えた地元志貴地区との避難協定（令和5年3月1日変更協定締結）について、地区の自治会長との間で施設への避難経路等の確認を行いました。

⑤ 施設の維持修繕

- ・ 開設後10年以上が経過し、設備機器等に経年劣化による不具合が生じてきており、これらの修繕対応を行いました。（エアコン、温冷配膳車、正面玄関自動ドア、厨房機器等）

⑥ 施設内の保守管理

- ・ 定期点検、定期清掃の記録

定期検査（特殊建築物）	令和7年 8月30日
定期検査（防火設備）	令和7年11月14日
消防用設備点検	令和7年 5月10日
電気工作物点検	毎月
エレベーター保守点検	令和7年4月10日、令和7年7月23日 令和7年10月8日、令和7年1月14日
エレベーター法定点検	令和8年1月5日
浄化槽保守点検	毎月
浄化槽清掃実施	令和7年12月2日
浄化槽法定検査	令和7年12月1日
飲料水貯水槽清掃	令和7年6月4日
飲料水水質検査	令和7年7月29日

（5）職員の健康管理について

- ・ 定期健康診断の実施

全従業員対象	令和7年 4月 71名実施（ハッピーキッズ・ジュニア含む）
夜勤従業者対象	令和7年10月 28名実施

（6）給食について

- ・ 美し国（給食）委員会において、管理栄養士によるお食事の様子伺いや聴き取りの結果を委託業者と話し合い共有することにより、食事の質の向上につなげました。
- ・ 令和8年1月～2月にかけて嗜好調査を実施 回答率100%（対象者82人）

資料1

令和7年度 会議等の開催について

月	内 容	参 加 者
4	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
5	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	※3 施設長、介護リーダー、ケアマネ、明和町、地域包括、民生児童委員、自治会長、ご入居者様代表、ご家族様
6	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
7	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	※3 施設長、介護リーダー、ケアマネ、明和町、地域包括、民生児童委員、自治会長、ご入居者様代表、ご家族様
8	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
9	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	※3 施設長、介護リーダー、ケアマネ、明和町、地域包括、民生児童委員、自治会長、ご入居者様代表、ご家族様
10	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
11	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	※3 施設長、介護リーダー、ケアマネ、明和町、地域包括、民生児童委員、自治会長、ご入居者様代表、ご家族様
12	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
1	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	※3 施設長、介護リーダー、ケアマネ、明和町、地域包括、民生児童委員、自治会長、ご入居者様代表、ご家族様
2	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
3	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	※3 施設長、介護リーダー、ケアマネ、明和町、地域包括、民生児童委員、自治会長、ご入居者様代表、ご家族様

※1 毎月多職種が参加してユニット会議を開催。

入居者様の介護に関して各職種間で様々な角度からの検討やユニットの課題を話し合う。

※2 毎月事務室・生活相談員・ケアマネ・看護主任・管理栄養士・機能訓練指導員・エリアリーダーが出席し、施設からの連絡事項や運営上の課題を検討する。

※3 地域代表・明和町・地域包括センター・ご家族様から施設運営についてご意見を伺う。

資料2

令和7年度 職員研修（内部）の実施状況について

月	内 容		担当者
4	自宅でできるストレッチ（腰痛・ケガ予防） 認知症ケア研修（集合）①	ユニット別 管理者対象	安全衛生委員会 権利擁護推進委員会
5	事故情報解析 防災教育 認知症ケア研修（集合）②	ユニット別 全体 リーダー対象	事故対策委員会 災害対策推進室 権利擁護推進委員会
6	とろみ剤研修 口腔衛生管理研修①	ユニット別 全体	美し国委員会 看護
7	企画広報の活動 認知症ケア研修（介入型）③	ユニット別 ユニット別	企画広報委員会 権利擁護推進委員会
8	褥瘡の好発部位と正しいポジショニング	ユニット別	褥瘡委員会
9	看取り研修 認知症ケア研修（介入型）④	ユニット別 ユニット別	ユニットケア推進室 権利擁護推進委員会
10	身体拘束適正化研修	ユニット別	権利擁護推進委員会
11	虐待防止研修 防災教育 認知症ケア研修（介入型）⑤	ユニット別 全体 ユニット別	権利擁護推進委員会 災害対策推進室 権利擁護推進委員会
12	感染発生時の対策、感染対策マニュアル 口腔衛生管理研修②	ユニット別 全体	感染症対策委員会 看護
1			
2	感染症, 食中毒の予防, まん延の防止	個別	オンデマンド研修システム
3	事故の発生など緊急時の対応 非常災害時の対応	個別 個別	オンデマンド研修システム オンデマンド研修システム

資料3

令和7年度 職員研修（外部）の実施状況について

主催	研修項目	受講者
伊勢市国際交流協会	外国人への日本語学習支援者養成講座	事務長、事務主任
三重県	高齢者・障害者施設向け感染症対応力向上研修（オンライン）	看護職員
三重県社会福祉協議会	三重県介護助手導入支援セミナー（オンライン）	施設長
伊勢市消防本部	甲種防火管理新規講習	事務長
三重県	給食施設管理者研修会	管理栄養士
特別養護老人ホーム美里ヒルズ	実践報告会2025	看護職員
みえ介護生産性向上支援センター	介護現場の生産性向上に向けた研修会	施設長
明和町	虐待防止研修（オンライン）	施設長
三重県老人福祉施設協会	ACP・看取りに関する研修会（オンライン）	施設長・介護支援専門員
三重県福祉栄養士研究会	三重県福祉栄養士研究会研修	管理栄養士
全国社会福祉協議会中央福祉学院	社会福祉施設長資格認定講習課程	施設長
三重県	高齢者・障害者施設向け感染症対応力向上研修（集合型）	看護主任
ケアテック名古屋事務局	ケアテック名古屋 '25	施設長、副施設長
三重県老人福祉施設協会	BCP研修会	副施設長
三重県松阪保健所	地域栄養管理ネットワーク（給食施設従事者）研修会	管理栄養士
ドクターメイト	裁判例から学ぶハラスメント対策（オンライン）	施設長
三重県社会福祉協議会	法人向けセミナー（オンライン）	施設長
三重県福祉栄養士研究会	三重県福祉栄養士研究会研修	管理栄養士
弁護士法人かなめ	労働判例研究会（オンライン）	施設長
みえ介護生産性向上センター	デジタル中核人材養成研修（オンライン）	副施設長

資料4

令和7年度 広域ウエルハート明和 レクレーション一覧

NO	日付	レクレーション名	ユニット名
1	4.3	お花見ドライブ	りんどう・ダリア
2	4.7	お花見ドライブ	くるみ・わかば
3	4.7	お花見ドライブ	もみじ・あじさい
4	6.9	たこ焼きパーティー	りんどう・ダリア
5	8.18	綿あめ・ホットケーキレク	もみじ・あじさい
6	9.10	ちょっと早い秋分の日	くるみ・わかば
7	10.15	秋のレクさつまいもスイートポテトケーキ	くるみ・わかば
8	10.27	ハロウィンレク	もみじ・あじさい
9	11/1	プチ縁日	医務室
10	11.20	焼き芋レク	りんどう・ダリア
11	11.28	外出行事	りんどう・ダリア
12	12.18	クリスマス会	もみじ・あじさい
13	12.24	クリスマス会	りんどう・ダリア
14	12.26	クリスマス会	くるみ・わかば
15	2.3	豆まき	りんどう・ダリア
16	3.30	花見レク	もみじ・あじさい

資料5

令和7年度 地域密着型ウエルハート明和 レクレーション一覧

NO	日付	レクレーション名	ユニット名
1	5.12	パン ビュッフェを開催しよう	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
2	5.12	ドライブに行こう	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
3	7.22	焼き餃子パーティー	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
4	9.15	敬老の日のお祝い	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
5	10.7	誕生日会	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
6	12.4	ハンバーグ定食でスタミナをつけよう	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
7	12.18	クリスマスレク	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
8	1.8	すき焼きレク	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
9	1.31	お誕生日お祝い	あやめ・カンナ・はなしょうぶ
10	2.5	お誕生日お祝い	あやめ・カンナ・はなしょうぶ

令和 7 年度 事業報告書

社会福祉法人ウェルハート厚生会 障がい部門

ハッピーキッズ・ハッピージュニア

1. 事業所概要

項目	ハッピーキッズ	ハッピージュニア
事業種別	児童発達支援 放課後等デイサービス	放課後等デイサービス 児童発達支援
指定年月日	令和 2 年 10 月 1 日	令和 6 年 7 月 1 日
定員	10 名／日	10 名／日
所在地	三重県伊勢市小俣町宮前 296-8	三重県伊勢市小俣町元町 764
営業日	月曜～金曜日	月曜～金曜日
営業時間	児童発達支援 9：15～17：00 放課後等デイサービス 平日…14：00～17：30 学校休業日…10：00～15：00	児童発達支援 10：00～15：00 放課後等デイサービス 平日…14：00～17：30 学校休業日…10：00～15：00

2. 事業運営について

(1) 職員体制

ハッピーキッズ

職種	令和 7 年 4 月 1 日	令和 8 年 4 月 1 日
管理者	1 名（常勤）	1 名（ハッピージュニア管理者 兼務）
児童発達支援管理責任者	1 名（常勤）	1 名（常勤）
保育士	2 名（常勤）	1 名（常勤）
児童指導員	2 名（うち 1 名は管理者兼務）	2 名

ハッピージュニア

職種	令和7年4月1日	令和8年4月1日
管理者	1名（常勤）	1名（常勤）
児童発達支援管理責任者	1名（管理者兼務）	1名（管理者兼務）
保育士	3名（常勤）	3名（常勤）
児童指導員	1名（常勤）	0名

（２）利用実績

項目	ハッピーキッズ	ハッピージュニア
登録人数	児童発達支援…26名 放課後等デイサービス…3名	児童発達支援…0名 放課後等デイサービス…30名
年間延べ利用人数	児童発達支援…1,892名 放課後等デイサービス…365名 計 2,257名	放課後等デイサービス…2,393名 （児童発達支援…0名） 計 2,393名
主な対象年齢	3歳～7歳	6～12歳
主な利用地域	伊勢市、明和町、玉城町	伊勢市、明和町

（３）年間の利用率の推移

【ハッピーキッズ】

前年度と比較して年間利用率は2.0%減となりました。主な要因として、就学に伴うサービス終了や利用児童数の変動が挙げられます。引き続き、新規利用児童の受入れや関係機関への周知活動を行い、安定した事業運営に努めてまいります。

【ハッピージュニア】

前年度と比較して年間利用率は16.6%増となりました。関係機関との連携強化や見学・相談対応の充実に努めたほか、利用率の低かった土曜日開所について運営体制を見直し、8月をもって終了したことで、平日利用を中心とした効率的な受入体制の構築につながりました。その結果、利用率が安定し、事業運営の改善を図ることができました。今後も利用児童

及び保護者のニーズに応じた支援を提供し、安定した運営に努めてまいります。

【年間利用率】

月	ハッピーキッズ	ハッピージュニア
4 月	86.4%	76.2%
5 月	88.6%	75.6%
6 月	93.8%	91.6%
7 月	92.2%	85.6%
8 月	93.9%	87.8%
9 月	89.5%	97.7%
10 月	84.8%	99.1%
11 月	84.5%	91.5%
12 月	91.9%	92.4%
1 月	93.5%	93.5%
2 月	80.0%	84.5%
3 月	87.7%	89.5%
年間平均	88.9%	88.7%

3. 支援内容・活動実績

【ハッピーキッズ】

主な支援内容

- ・ 個別支援計画に基づく発達支援
- ・ 集団活動による社会性支援
- ・ 個別療育による発達支援
- ・ 学習支援・生活支援
- ・ 保護者支援・相談援助

主な活動実績

- 制作活動
- 運動活動
- SST（ソーシャルスキルトレーニング）
- 避難訓練 等

関係機関連携

- 学校との情報共有
- 相談支援事業所との連携
- 医療機関・保健センター・児童相談所・市町村障害福祉担当課等との連携

【ハッピージュニア】

主な支援内容

- 個別支援計画に基づく支援
- 集団活動による社会性支援
- 学習支援・生活支援
- 保護者支援・相談援助

※学齢期の児童を対象とするため、集団活動を中心とした支援を行っている。

主な活動実績

- 季節行事
- 制作活動
- 運動活動
- SST（ソーシャルスキルトレーニング）
- 避難訓練 等

関係機関連携

- 学校との情報共有
- 相談支援事業所との連携

4. 安全管理・研修実施状況

【実施内容】

- 防災訓練（地震・火災）…年2回（令和7年5月14日、令和7年5月16日、令和7年5月20日、令和7年5月22日、令和7年5月26日、令和7年5月31日、令和8年1月5日～9日）
- 感染症対策…年2回（令和7年8月21日、令和7年12月17日）
- 虐待防止研修…年2回（令和7年4月21日、令和7年11月20日）
- 身体拘束適正化研修…年2回（令和7年4月21日、令和7年11月20日）
- 事故防止研修…年1回（令和7年4月4日）
- ヒヤリハット共有…適宜

5. 令和7年度事業計画に対する実施状況

①自事業所での発達検査実施に向けた準備について

自事業所での発達検査実施に向けた準備については、年度内の実施には至りませんでした。当初は児童発達支援管理責任者及び管理者を中心に準備を進める計画でしたが、年度途中の退職及びそれに伴う人事異動が発生し、新たな運営体制の構築と事業運営の安定化を優先して取り組む必要がありました。そのため、本目標については十分な検討・準備を進めることができませんでした。今後は体制の安定化を図りながら、改めて実施に向けた検討を進めてまいります。

②小俣地域に根差した運営

地域に根差した事業所運営を目標として、地域の小学校や幼保園を中心に訪問・周知活動を実施しました。その結果、前年度時点で23名であった小俣地域在住の利用児童数は令和7年度末では24名となり、利用児童全体に占める割合は約41%となりました。前年度の約40%と比較して微増ではありますが、継続して地域のニーズに応える事業所として一定の成果を上げることができました。

また、保護者向けに療育参観の機会を設けるなど、支援内容を実際に見ていただける機会を設け、開かれた事業所運営に努めました。

一方で、地域住民や関係機関を対象とした行事等の開催には至りませんでした。今後は、地域の子育て支援機関や関係事業所との連携を深めながら、見学会や交流イベント、発達支援に関する情報発信等の実施を検討し、地域とのつながりをさらに強化してまいります。

日時	場所	講師	参加者	内容
6月10日	ハッピージュニア (オンライン)	宮野原 勇斗	奥山、和田 石川、田島 大山、大城 辻、 ジャヤシンハ	〈気持ち・行動の切り替えが苦手な子どもへの対応〉 ・「切り替え」の考え方とサポート ・「切り替え」の力を育むには ・具体的な対応方法 実行機能、自己制御、認知的柔軟性、感情調整といった脳の機能と関連つけた支援方法の紹介
7月14日	いせトピア	鷲野 千秋	ジャヤシンハ 大山	発達特性をもつ子どもの支援 ～知的障害・行動障害を伴う自閉症児を中心に～ ・黒子支援の実践 ・特性要因と環境要因の整理の方法
1月15日	ハッピージュニア (オンライン)	山内 康彦	奥山、石川 田島 和田、辻、 大山 ジャヤシンハ	～子どもの気持ちを整える～療育現場で必要なSSTの視点とは？ ・認知行動療法の考え方 ・行動・言葉の背景にある困り感の捉え方
1月26日	ハートプラザ みその	宮口 英樹	石川 田島	境界知能・グレーゾーンの理解とその支援～コグトレの活用～ ・境界知能とは何か ・境界知能・グレーゾーンの人の困り感 ・コグトレの実践方法
1月27日	ハッピージュニア (オンライン)	弁護士法人かなめ	奥山、石川 田島 和田、辻、 大山 ジャヤシンハ	日本版DBS対応 ・日本版DBSとは何か ・事業所での対応 ・保護者・利用者への周知について